

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
前期	4	鉄棒運動	3	<ul style="list-style-type: none"> 鉄棒運動では、その行い方を理解するとともに、基本的な上がり技や支持回転技、下り技を安定して行ったり、それらを連続したり組み合わせたりすること。 器械運動についての自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 器械運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
		体ほぐしの運動	3	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動では、その行い方を理解し、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができるようにする。 自己の体の状態や体力にに応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	保健領域
	5	短距離走・リレー	4	<ul style="list-style-type: none"> 短距離走・リレーでは、その行い方を理解するとともに、走るより鼓バトンの受け渡しなどのルールを決めて競走したり、自己やチームの記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、一定の距離を全力で走ることができるようにする。 自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
		表現	3	<ul style="list-style-type: none"> 表現では、そこ行い方を理解するとともに、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができるようにする。 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
	6	体の動きを高める運動	5	<ul style="list-style-type: none"> 体の動きを高める運動では、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の体力の課題を踏まえ、体の動きを高めるための運動を行うことができるようにする。 自己の体の状態や体力にに応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
		マット運動	5	<ul style="list-style-type: none"> マット運動では、その行い方を理解するとともに、自己の能力に適した回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりする。また、選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができるようにする。 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
	7	クロール 平泳ぎ 安全確保につながる運動	12	<ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、その行い方を理解するとともに、左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐこと。また、平泳ぎでは、その行い方を理解するとともに、手の動きに合わせて呼吸し、キックの後には息を止めてしばらく伸びて、続けて長くことができるようにする。安全確保につながる運動では、その行い方を理解するとともに、背浮きや浮き沈みをしながら、タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができるようにする。 ・自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・運動に積極的に取り組み、約束を守り合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
		心の健康	4	<ul style="list-style-type: none"> ・心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処について、理解できるようにするとともに、不安や悩みへの対処についての技能を身に付けることができるようにする。 ・心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 ・心の健康について、健康や安全の大切さに気付き、自己の健康の補遺増進や回復に進んで取り組むことができるようにする。 	運動領域 「体ほぐしの運動」
	8 9	ボール運動（ベースボール型）	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースボール型では、簡易化されたゲームの行い方を理解するとともに、ボール操作やボールを持たないときの動きによって、攻防をすることができるようにする。 ・ボール運動についての自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ボール運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考え方や取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
		フォークダンス	2	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンスでは、その行い方を理解するとともに、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方と特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができるようにする。 ・自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
	10	ハードル走 走り幅跳び 走り高跳び	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走では、その行い方を理解するとともに、ハードルをリズムカルに走り越えることができるようにする。また、走り幅跳びでは、その行い方を理解するとともに、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができるようにする。 ・陸上運動についての自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・陸上運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
11		跳び箱運動	6	<ul style="list-style-type: none"> 跳び箱運動では、その行い方を理解するとともに、基本的な切り返し技や回転技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができるようにする。 器械運動についての自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 器械運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
		けがの防止	4	<ul style="list-style-type: none"> けがの発生要因や防止の方法について理解できるようにするとともに、けがが発生したときには、その症状の悪化を防ぐために速やかに手当てができる技能を身に付けることができるようにする。 けがの防止について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 けがを防ぐことの大切さに気付き、危険を予測して回避したり、けがが発生した際には、速やかに手当てをしたりすることに進んで取り組むことができるようにする。 	
	12	体の動きを高める運動	4	<ul style="list-style-type: none"> 体の動きを高める運動では、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の体力の課題を踏まえ、体の動きを高めるための運動を行うことができるようにする。 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
		鉄棒運動	4	<ul style="list-style-type: none"> 鉄棒運動では、その行い方を理解するとともに、基本的な上がり技や支持回転技、下り技を安定して行ったり、それらを連続したり組み合わせたりすること。 器械運動についての自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 器械運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
1		ハードル走 走り幅跳び 走り高跳び	5	<ul style="list-style-type: none"> ハードル走では、その行い方を理解するとともに、ハードルをリズムカルに走り越えることができるようにする。また、走り幅跳びでは、その行い方を理解するとともに、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができるようにする。 陸上運動についての自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 陸上運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
2		ボール運動（ネット型）	8	<ul style="list-style-type: none"> ネット型では、簡易化されたゲームの行い方を理解するとともに、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすることができるようにする。 ボール運動についての自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ボール運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考え方や取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	

令和5年度 体育科 年間指導計画 第5学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
	3	ボール運動（ゴール型）	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、簡易化されたゲームの行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、攻防をすることができるようにする。 ・ボール運動についての自己やグループの課題を見付け、課題解決のための活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・ボール運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考え方や取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	
年間授業時数			90		